輝く未来へ 兵庫工業会

兵庫工業会は会長に宮脇新也氏が就任し、新たな体制で2019年度のスタートを切った。会長、４副会長に、荒木一聡兵庫県副知事を交えた座談会を開き、今後の兵庫工業会のあるべき姿、産業振興につなげる方策について語ってもらった。

座談会

多様性の発信が使命に

兵庫工業会 会長
宮脇 新也氏

―19年度から新スローガン「変化に挑戦 輝く未来へ」を掲げました。未来の兵庫工業会のあるべき姿とは。

宮脇 新スローガンに盛り込んでいる「変化」という面では製造業を取り巻く環境だけでなく、世の中が見る目も大きく変わってきている。顧客のニーズも多様化している。従来製造業の価値として求められてきたQCD（品質・コスト・納期）に加え、新しい価値を求められる時代が来ている。「コンプライアンス」が当たり前になり、未来の兵庫工業会のあるべき姿とは。さらに倫理的、道徳的という意味の「エシカル」という言葉も言われるようになった。社会の問題や課題、環境問題などに企業が事業を通じて取り組んでいかなければならない。兵庫工業会は他府県の同様の組織と比べても遜色ない活動、事業を行ってきた。まずは続けてきた取り組みを濃くし、質を高めたい。会員企業のニーズや課題をよく聞いて新しいことに挑戦していく。

金井 これまで副会長を8年務め、兵庫工業会の存在価値、意義を常に考えながら運営してきた。会員企業の皆さまにどう満足してもらえるか必要がある。思い切って「行政や国はこうあるべきだ」「モノづくりはこういう方向に行くべきだ」と提言できる工業会でありたい。内向きには会員企業へのサービス提供が役割だ。グローバル展開においてはモノづくりや方向性、役割が変わってくる。会員企業も工業会も変わっていかないといけない。

竹田 姫路市に会社のある私の目から見ると、兵庫工業会は神戸市内の大企業が中心になっている集まりのようで、やや敷居が高いように思う。今後はそうではなく身近な存在でありたい。もう少し中小企業に目線を合わせてそちらに軸足を置きたい。中小に偏りすぎるわけにもいかないが、基本的なことはきちんとやるべきだ。一方で工業会にはせっかく大手が多くいるので、ケーススタディーで伝えていくことも大切。また行政の産業振興施策が個別企業には十分伝わっていると言えない。それを伝えていくのも工業会の使命だ。

村元 時代に即応した組織にならなければならない。平成は無変化、どちらかといえば衰退が目立った時代だった。製造業も世の中の変化に対応できず、さまざまな問題が現れている。特に中小企業や労働者にとっては厳しい状況になっている。人件費の負担が大きくなり、日本でモノづくりを行うのは厳しい時代が続く。なんとか生き延びているが、大変な時代だ。兵庫工業会としても、どんどん先を読んで時代に対応した取り組みを進めなければならない。労働人口が減少しており、外国人雇用に対応していかなければならない。日本がしっかりとした法律で外国人雇用を守らなければ、外国人も日本に来てくれなくなってしまう。かつて外国に比べ日本でもらえる給料は30―40倍あったが、今はベトナムにしても10数倍程度になっている。日本では給料が上がらず外国が成長した結果、賃金格差が縮まっている。雇用コストは日本人に比べると高くつく。生活面をフォローしてあげる必要があるからだ。外国人雇用の実績を持つ企業は増えており、後に続く企業に成功例を伝えていきたい。ニーズは増えており、兵庫県や神戸市などと行っている留学生との就職マッチングでは、6年前はなかなか企業が集まらなかったが、今は多くの企業、留学生が参加している。一方、海外進出支援は需要が少なくなってきた。生産そのものを移転することが少なくなっており、販路開拓支援などの活動を続けている。また兵庫県大が今年から国際商経学部グローバルビジネスコースを新設した。兵庫工業会としても卒業生を積極的に企業が採用するよう働きかけを行う。

―荒木兵庫県副知事は19年度から産業振興を担当されています。行政の立場から兵庫工業会に期待することは何ですか。

荒木 兵庫県はポストワールドマスターズゲームズや大阪・関西万博などビッグイベントが続く。世界から関西・兵庫に注目が集まっている。そうした中で、兵庫県は持続的に発展していくことを考えなければいけない。モノづくり県というキャッチフレーズを持ち続けなければならない。県は、既成概念を越えて新たなリーディングプロジェクトを実施し、チャレンジをする。兵庫工業会の皆さんからも具体的な提案をしてもらいたい。県が実施しているプランや事業が、現場の課題解決につながっているのかアップデートしていかなければならないのか、ご意見をいただきたい。兵庫工業会との情報交換の中で、現場の課題解決を図っていきたい。

―逆に兵庫工業会から行政、兵庫県に要望することはありますか。

宮脇 会長に就任した兵庫県、行政への要望はこれから考えたい。兵庫県は多様性に富んだ県で、モノづくりにつながる資源、人材が豊富な宝の山のような県。神戸大学や兵庫県立大学、SPring―8、医療産業都市など大学や最先端の研究機関がある。地場では日本酒や播州織、三木金物などの産業がある。他県にはないような多様性、モノづくりの資源がある。これらからいかに工業会として良いアウトプットを引き出すのか、非常に大きな使命と考えている。

金井 数年前から工業会として行政と意見交換をしている。経済団体としては、現場のモノづくりの声を伝え、こういう方向にするべきだという提言をしていくという大きな役割がある。県の施策が出る前に、一緒に作り上げていくことが必要である。施策が出てきても現場の声とミスマッチングになっては意味がない。予算編成の時間軸の関係でうまくタイミングが合わず進まないこともあるが、そういう現場の声を聞いてもらいたい。今は行政の話を聞いても人手不足の話題が多いが、本来はモノづくりの成長戦略や新しいビジネスをどう変革していくかを進めるべきだ。新しいビジネスやイノベーションを作っていく。兵庫県にも我々の声を聞いてもらい、施策への反映を期待している。

―会員企業の変化への挑戦を支援するため、兵庫工業会はどう取り組みますか。

宮脇 以前から「グローバル化推進」「産業・技術振興」「会員交流」「人材育成」の4委員会で活動し、非常にうまく機能している。まずは計画に沿って運営するのは当然だが、委員会で新しいものにどう挑戦するか、委員会自体を活性化して議論し、工業会としての意見としてまとめたい。

―各委員会の本年度の活動や将来像を伺いたいと思います。人材育成委員会については。

竹田 人手不足、人材不足が深刻になり、人材育成委員会の重要性が増している。製図、機械工学や安全面の現場改善をテーマとするなど、基本的なことを中心にいろんなプログラムを組んでいる。私の会社は、兵庫県の支援をいただいて台湾で駅弁を売っている。海外に出て行くと文化が異なり、現地の法律もわからない。外国のことを知り、受け入れる人材もどうやって指導していくか、グローバル化を意識した上で教育や情報を流すことをしないといけない。工業会の事業としての具体化するかはまだ考えていないが、必要性はあると思う。

―グローバル化推進委員会は外国人受け入れが大きなテーマです。

村元 今から外国人を雇用しようとしている企業に、すでに雇用して成功している企業の体験談を伝えていく。セミナーを開くと申し込みが大変多く、外国人雇用に対する知識習得のニーズは高まっている。雇用コストは日本人に比べると高くつく。生活面をフォローしてあげる必要があるからだ。外国人雇用の実績を持つ企業は増えており、後に続く企業に成功例を伝えていきたい。ニーズは増えており、兵庫県や神戸市などと行っている留学生との就職マッチングでは、6年前はなかなか企業が集まらなかったが、今は多くの企業、留学生が参加している。一方、海外進出支援は需要が少なくなってきた。生産そのものを移転することが少なくなっており、販路開拓支援などの活動を続けている。また兵庫県大が今年から国際商経学部グローバルビジネスコースを新設した。兵庫工業会としても卒業生を積極的に企業が採用するよう働きかけを行う。

取り組み継続で質高める

兵庫工業会 副会長
金井 宏彰氏

価値観変える必要性が

兵庫工業会 副会長
竹田 佑一氏

中小企業に目線合わす

神門 スローガンに沿った事業が本年度は企画されている。いかにやりきって質を高めるかが重要だ。私は工業会の使命は「モノづくりにかかわる仲間の出会いの場を提供すること」だと思う。仲間には大企業と中小企業、工業と商業も垣根なく含め、工業会という名前にしばられず広げたい。他の経済団体も県内にたくさんあるが、交流は少ない。それぞれの団体がそれぞれの趣旨で活動しているので、うまく相互に利用すればよい。交流を深めることで、やる気のある企業はヒントを見つけられる。日本企業が海外に劣るのはスピード感。私も海外に行って肌で感じた。スピード感は言葉ではなく、体験すると分かる。他の地域や海外の企業も含め、出会いの場をできるだけ作ることが一番大事だ。

創業明治二十一年　弁当・駅弁、折詰、幕の内、会席料理、パーティー料理、レストラン・麺類店の経営
まねき食品株式会社
取締役会長 竹田 佑一
代表取締役 竹田 典高
〒670-0947 兵庫県姫路市北条953番地 ☎079(224)0255
http://www.maneki-co.com FAX079(284)8481

金井グループ
金井重要工業株式会社
トクセン工業株式会社
代表取締役社長 金井 宏彰

人と社会の「新たな信頼」を創造するリーディングカンパニーへ
グローリー株式会社
代表取締役社長 三和 元純
〒670-8567 兵庫県姫路市下手野1－3－1 ☎079(297)3131
https://www.glory.co.jp FAX079(294)6233

MITSUグループ
ミツ精機株式会社
ミツテック株式会社

非鉄金属鋳物製造
カルモ鋳工株式会社
代表取締役 髙橋 直哉
〒651-2271 神戸市西区高塚台3－1－45 ☎078(991)1414
FAX078(991)1418

シスメックス株式会社
代表取締役会長兼社長 CEO 家次 恒
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1－5－1 ☎078(265)0500
https://www.sysmex.co.jp/ FAX078(265)0524

建設業
大和ハウス工業株式会社
神戸支社長 三浦 洋一
〒651-0084 神戸市中央区磯辺通4－2－22 ☎078(272)3800㈹
https://www.daiwahouse.co.jp FAX078(265)3555

住友ゴム工業株式会社
代表取締役社長 山本 悟
〒651-0072 神戸市中央区脇浜町3－6－9 ☎078(265)3000

伝動ベルト、搬送ベルトおよび関連機器など
「高機能」「高精密」「高品質」な製品を提供する
三ツ星ベルト株式会社
代表取締役社長 垣内 一
神戸本社 〒653-0024 神戸市長田区浜添通4－1－21 ☎078(671)5071
http://www.mitsuboshi.co.jp FAX078(685)5670

各種スポーツ用品等の製造および販売
株式会社アシックス
代表取締役会長CEO 尾山 基
〒650-8555 神戸市中央区港島中町7－1－1 ☎078(303)2231
https://corp.asics.com/jp/ FAX078(303)2241

株式会社みなと銀行
取締役頭取 服部 博明
〒651-0193 神戸市中央区三宮町2－1－1 ☎078(331)8141㈹
FAX078(331)8390

ベルトと機能部品で「際立つ」グローバルサプライヤーに
ベルト・自動車部品・産業資材・高機能エラストマー製品
バンドー化学株式会社
代表取締役社長 吉井 満隆
〒650-0047 神戸市中央区港島南町4－6－6 ☎078(304)2923
www.bandogrp.com FAX078(304)2983

小さなふれあい 大きなおつきあい
姫路信用金庫
理事長 三宅 知行
〒670-8652 兵庫県姫路市十二所前町105 ☎079(288)1121
http://www.shinkin.co.jp/himeshin/ FAX079(288)9173

ネームプレート・ラベル・表記のトータルサプライヤー
株式会社トーホー
代表取締役社長 上村 勝敏
〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町2－5－25 ☎06(6401)0262
http://www.toho-np.co.jp FAX06(6489)3326

精密ポンプ・流体制御機器の製造 販売
株式会社タクミナ
代表取締役社長 山田 信彦
〒541-0047 大阪市中央区淡路町2－2－14 ☎06(6208)3971
https://www.tacmina.co.jp FAX06(6208)3977

電子応用機器・通信機器・医療用機器等の開発・製造および販売
古野電気株式会社
代表取締役社長 古野 幸男
〒662-8580 兵庫県西宮市芦原町9－52 ☎0798(65)2111
https://www.furuno.co.jp/ FAX0798(63)1020

表面改質の総合メーカー
トーカロ株式会社
代表取締役社長 三船 法行
〒650-0047 神戸市中央区港島南町6－4－4 ☎078(303)3433
FAX078(303)3435

『Be a Trusted Partner』 お客様に信頼される真のパートナーに
コベルコシステム株式会社
代表取締役社長 田野 美雄
神戸本社 〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町4－2－7 (シマブンビル11F) ☎078(261)7500 FAX078(261)7520
東京本社 〒141-8688 東京都品川区北品川5－9－12 (北品川ONビル3F) ☎03(5739)5150 FAX03(5739)5178
https://www.kobelcosys.co.jp/

ニーズとシーズのベストコーディネータ
菱井商事株式会社
取締役社長 豊嶋 義富
〒650-0037 神戸市中央区明石町32番地 (明海ビル10階) ☎078(393)3300
http://www.hishii.co.jp FAX078(325)2289

［無限大］のソリューション
篠山から世界へ…プラスチックに夢を乗せて!
フルヤ工業株式会社
代表取締役社長 降矢 寿民
〒669-2211 兵庫県丹波篠山市大沢新110 ☎079(594)1111㈹
http://www.furuyainc.co.jp FAX079(594)1115